

大漁

朝焼け小焼けだ

たいりよう

大漁だ

おおいわし

大羽鰯の大漁だ。

浜は祭りのようだけど

海の中では

何万の

鰯のとむらい

するだろう。

積った雪

上の雪

さむかるな。

つめたい月がさしていて。

下の雪

重かるな。

何百人ものせていて。

中の雪

さみしかるな。

空も地面も見えないで。

「金子みすゞ童謡全集」  
 JULA出版局より



金子みすゞ記念館

## 《私の好きな詩 . . . . . 枝廣篤昌》

みすゞさんとの出会いは、矢幡さんとの出会い。「柳家小満ん師匠をお招きして落語会を開きたいのですが、まずは芸乃虎や志さんでお試しをしてみたい。」との申し出からでした。湯ノ浦のホテルで金子みすゞさんの詩を解説して下さっていたのは、矢崎節夫先生。やさしく、そして少しかすれた声を思い出します。「みすゞさんのまなざし」がテーマだったように思います。

その後、いくつかの詩に触れてみて、みすゞさんの詩と落語とは、どこか似ているなあと感じました。落語のオチやクスグリと、みすゞさんの詩の共通点。それは、どちらもハッとさせられるところ。

私の好きな落語に「愛宕山」という演目があります。旦那と太鼓持ちの一八が山登りをする話なのですが途中で谷に向かって、かわらけ投げをする。ところが旦那は途中から、かわらけの代わりに小判を投げ始める。一八が「もったいない、もし拾ってきたら私にいただけますか」旦那「もちろん」。小判は谷底。ずいぶんと高低差がある。降りる道もない。そこで思い立ったのが、大きな傘で落下傘みたいに飛び降りる事。命からがら下に降りた一八。全部拾います。ところが、旦那が一言「どうやって上がる？」困り果てた一八。着ているものを全部脱いで縄を作り、長い竹に引っかけて、そのしなりを利用してピョンとひとつ跳び。「ただいま帰りました」「えらいねえ、生涯<sup>ひいき</sup>巔にするよ」「ありがとうございます」「金はどうした？」「あっ、忘れてきた」

人間の目線は、一点に固定されやすく出来ている。落語はお客さんの目線（意識・まなざし）を一点に向けておいて、オチやクスグリの時に、違った目線からの一言でハッとさせる。落語の場合はそこで笑いが生まれる。大きな傘で谷底まで下りて小判を全部拾った所で、一八も聴いているお客さんも「やった～、良くやった」と喜ぶ。ところが、旦那の「どうやって上がる？」の言葉にハッ！降りる事しか考えていなかった。でも一八は機転が利いて、竹をしならせその力でもって無事生還。二度目の「やった～、良くやった」に対し旦那の一言。「金はどうした？」一八とお客さんは上にあがる事にだけ意識が行っていて、金の事を忘れていた。案の定、小判は谷底に取り残されたまま「あっ、忘れてきた」のオチでお客さんがハッとさせられて、笑いが生まれる。

「大漁」という詩はまさにそうです。漁師の生活の目線から、海の魚の目線に切り替わった時にハッと気づかされる。「積もった雪」は、上に積もった雪から下の雪に目線が移る。ふつうはここで終わるのだけど、みすゞさんは“中の雪”にまで目を向ける。そこでハッとさせられる。



王子山から見た仙崎の町

2012年、山口県萩市で講演会があったのですが、何の連絡もせず「金子みすゞ記念館」に立ち寄った時、矢崎館長が偶然にもいてくれて、みすゞさんのお墓や、仙崎の見下ろせる王子山公園を案内していただきました。高台から見た景色の素晴らしかったこと。「王子山」も目線を変える事がテーマになっています。日常から少し目線や距離を変えて見るだけで、住み慣れた街も違って見えてくる。素敵だなあと思えてくる。

みすゞさんの詩は、ハッとさせられる中に、いつもやさしいまなざしを感じられるところがあるので、とても好きです。私もそんなまなざしを持てるようにしたいなあと思います。

枝廣先生、ご投稿ありがとうございます。湯浦のケーオーホテルで初めて先生の落語を聞かせていただいたのは、12年前の2006年2月のことでした。当時、「新居浜で落語を聴く会」を立ち上げられ落語の普及に奔走されていた先生のお姿を拝見し感銘したことを、きのうのように思い出します。今日までずーと私たちの活動に、ご協力・ご助言を賜りましたことに深く感謝いたします。これからも、よろしく願いいたします。

# 石鎚みすゞコスモス情報

●会員期限更新の手続きをありがとうございました。(まだお済みでない方は、現在も受け付けていますのでよろしくお願いいたします)



4月も半ばを過ぎ、小学1年生の足どりも心なしかしっかりしてきたように感じられます。～『四月』 新しいご本、／新しいかばんに。／新しい葉っぱ、／新しいえだに。新しいお日さま、／新しい空に。／新しい四月、／うれしい四月。～ みすゞさんも新緑の4月に心はずませていたようですね。

私たちの活動も17年目にはいり、たくさんのみすゞ仲間ができ心はずむ日々です。今年は、「赤い鳥創刊100年」・「金子みすゞ生誕115年」に当たり、各地で楽しいイベントが企画されているようです。今年もみんなでみすゞさんの宇宙を楽しみましょう。

## ★石鎚みすゞコスモス予定★

赤い鳥創刊100年・金子みすゞ生誕115年によせて

金子みすゞの宇宙 …こころの童謡…

事業スケジュール

- 第1回スタッフ会議【5月】  
(みすゞコスモス・ぐるうぷ響)  
→運営方法協議、日程確認
- チラシ・ポスターの作成
- 小・中学校校長会にて、感想文・感想画募集要項等説明、協力依頼 (みすゞコスモス・人権擁護課)【7月】
- チラシ・ポスター・チケットの配布【8月】
- 小中学校児童・生徒への募集要項配布【8月】
- 作品回収 (学校でまとめて人権擁護課へ提出)【9月】
- 第2回スタッフ会議 (みすゞコスモス・ぐるうぷ響)  
感想文、感想画作品確認及び選考、  
ポスター・チラシの配布、周知方法検討等【9月】
- 第3回スタッフ会議 (みすゞコスモス・ぐるうぷ響)  
→最終調整、役割分担確定【11月】
- 事業実施 (みすゞコスモス・人権擁護課・ぐるうぷ響)  
会場設営等準備・片付け 参加者にはアンケートの依頼、回収、集計【12月8日】

## ★第21回みすゞ交流会のご案内★

★2018年8月25日(土) 湯本温泉 大谷山荘

交流会…17時より

懇親会…18時～20時30分

★2018年8月26日(日) 仙崎

➢ 午前自由行動…仙崎散策

➢ 午後13時00分より (長門中央公民館)

赤い鳥創刊100年・金子みすゞ生誕115年によせて

～こころの童謡～ みんなで歌おう

出演：矢崎節夫・みすゞ少年少女合唱団

先日、道の駅センザキキッチンとみすゞ記念館をつなぐ3Dアートなどの道しるべが完成しました。その間には、みすゞさんの詩の世界が体験できる様々な仕掛けがあるようです。町並みをぶらぶら歩いて、みすゞさんに出会ってみませんか。新しい仙崎にワクワクしますね10人以上集まるとバスツアーを組みます。希望者は、矢幡まで。

## 定例会日時のお知らせ

☆日時：毎月第3木曜日 AM10時～12時30分まで

☆場所：新居浜市まちづくり協働オフィス

Tel/0897-65-3158/Fax0897-65-3157/info@nijihama-kyodo.jp ・090-5642-7809 yuyu1221@cream.plala.or.jp(矢幡)

## エッセイ募集

☆私の好きなみすゞの詩

☆どしどしご投稿下さい。

